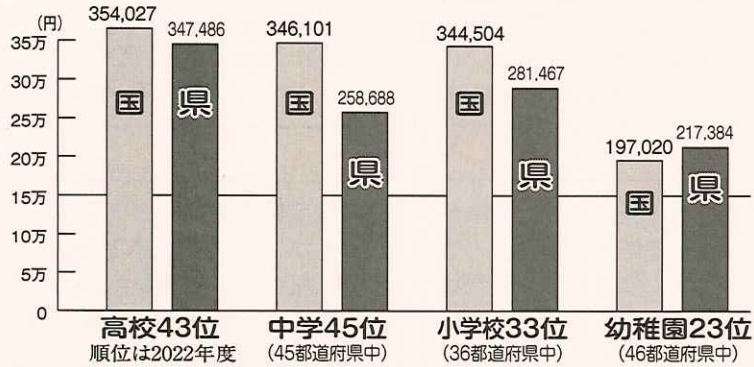


私立への経常費補助の一日も早い国基準額達成を!

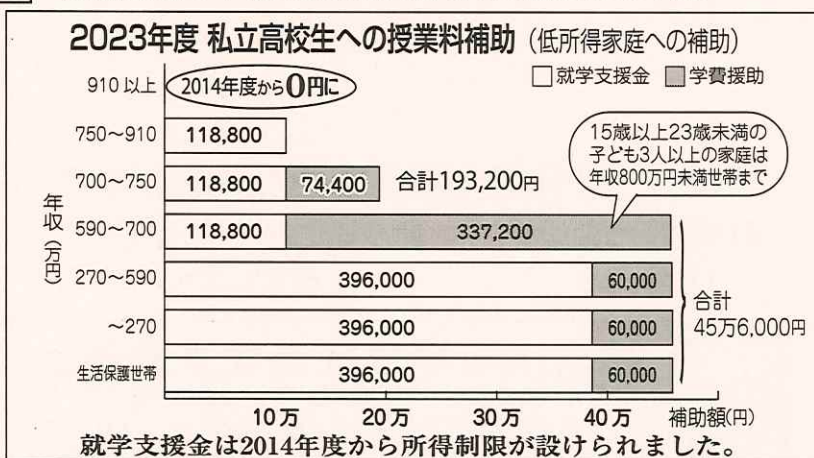
私立学校も35人学級実現のため一言はがきにご協力を!

生徒の一人あたりの経常費補助(学校への補助金)は幼稚園から高校まで国を上回る増額! 特に幼稚園は大幅増額! 授業料補助や入学金補助は現行制度を維持しました。これらはこれまでの私たちの運動の成果です。

1 神奈川の私立学校への経常費補助(学校への補助金)は国基準以下で全国最下位レベル! だから私学に通う家庭の学費負担は全国一!!



2 神奈川県の高所得世帯までの無償化の内容



3 多子家庭に対する補助制度のさらなる拡充を!

15歳以上23歳未満の子どもが3人以上(年収800万円未満)に該当する私立高校生は約700人で全体の1%です。この条件を拡充させていく必要があります。

他県に比べると...

- 東京では** 年収910万円未満の家庭まで(私立高校生の半数以上)授業料平均額の47万5千円の授業料補助。子ども3人以上は一律軽減。
- 埼玉では** 年収720万円未満の家庭まで(私立高校生の半数以上)授業料平均額の37万8千円の授業料補助。年収500万円未満の家庭までは授業料39万6千円に施設費20万円も補助。

急激な物価高に対して、ようやく給与の改善が見られ始めました。しかしそれによって却って授業料補助の所得制限にかかってしまうようでは逆効果です。所得制限の緩和も必要です。

神奈川の制度もさらによくしていく必要があります。

さらに私立高校は、授業料以外に施設整備費等がかかります。

	授業料	施設整備費	入学金
神奈川県平均	464,665円	273,000円	210,961円
全国平均	445,174円	164,196円	149,510円

切り取って学校に提出

切手を貼らず
そのまま学校
に提出して
ください

文部科学大臣
永岡桂子様

切手を貼らず
そのまま学校
に提出して
ください

神奈川県知事
黒岩祐治様

取り扱い団体

神奈川私学助成をすすめる会
〒231-0062 横浜市中区桜木町3-9
TEL 045-212-5574 FAX 045-212-5575

取り扱い団体

神奈川私学助成をすすめる会
〒231-0062 横浜市中区桜木町3-9
TEL 045-212-5574 FAX 045-212-5575

私たちの私学助成拡充を望む声を 文科大臣、県知事へ届けましょう

私学助成は法に定められた国民の権利です

私学助成 学校という公の性格を担う私立に対する国や県からの補助金	経常費補助 学校の運営への補助金
	学費補助 就学支援金を含む家庭への補助金

法的根拠

日本国憲法 第26条 教育を受ける権利
 教育基本法 第4条 教育の機会均等、第6条 学校教育、第8条 私立学校
 私立学校振興助成法 第1条

- ①私立学校の教育条件の維持及び向上
- ②私立在学幼児、児童、生徒、学生の経済的負担の軽減
- ③私立学校の健全な経営と健全な発達

なぜ一言はがきなのですか？

国の予算編成に先立って、各府省庁は、翌年度の政策を実施するのに必要な経費の見積書を、前年度の8月までに財務省に提出します。これを概算要求といいます。一言はがきは、私学助成署名運動の前の概算要求期に、次年度の私学助成予算を増額してくださいという私たちの声を行政に届けるために行っている運動です。



国基準実現は私たちが声を上げて！

一言はがきに思いを寄せて国や県に届けよう

私の家庭は母子家庭で、母は働いていて、私も週4日程度アルバイトをして、携帯代、服代などは自分で出していますが、やはり金銭的には厳しいです。なので学費の負担が少しでも減るととてもありがたいです。よろしくお願いします。(小田原市・生徒)

子どもが学費のことを気にかけることが無い、また、子どもを安心して学ばせられる、ひいてはお金のことで子どもを産むことをためらう事がなくすむ補助の拡充をお願い致します。神奈川県が全国のモデルとなるべく、検討・決断をお願い致します。(横浜市・保護者)

教育とは本来、全ての人間が等しく受けることを前提として成り立っています。しかし現状では家庭の財力による格差が教育にも影響を及ぼしています。そのため学費補助制度の強化が急務といえます。(横浜市・教職員)

授業料は無償化されてきていますが、施設設備費の補助はありません。交通費も高いので出来たら補助される事を願います。また、補助金もあとから支給されるので先にしてほしいです。(相模原市・保護者)

私たちは私立高校生を応援します

私学のつどい
11月(予定)

ぜひ見に来てください。
参加してください。

取扱
団体

神奈川県私学助成をすすめる会
〒231-0062 横浜市中区桜木町3-9
TEL 045-212-5574/FAX 045-212-5575

神奈川県知事 黒岩祐治 様

私立学校に通う子どもたちが、経済的な心配をしないで通学できるよう以下の措置をとってください。

- 安心して私立高校に進学できるように、埼玉県や東京都にならって県独自の学費補助をさらに拡充してください。また私立中学への県独自の学費補助制度を創設してください。
- 全国最低レベルの私立学校経常費助成を国基準以上にしてください。
- 県独自の施設設備助成を創設してください。
- 学級規模の改善を可能にする特別補助制度を創設してください。

都・道・府・県 _____ 市・区・町・村 _____

氏名 _____ 保護者・生徒・教職員
上記以外() _____

私の一言

文部科学大臣 永岡桂子 様

- 教育予算を増額してください。
- 私学において「少人数学級の実施」、「専任教職員増」が可能となるよう、経常費助成補助を増額してください。
- 高等学校等就学支援制度を拡充してください。
 - 年収910万円未満世帯まで私立高校授業料を無償にしてください。
 - 「私立高校の平均授業料を勘案した水準」の支給額を前年度の私立高校授業料全国平均額にしてください。

都・道・府・県 _____ 市・区・町・村 _____

氏名 _____ 保護者・生徒・教職員
上記以外() _____

私の一言
